



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年7月21日

上場会社名 株式会社 富士通ゼネラル

上場取引所 東

コード番号 6755 URL <https://www.fujitsu-general.com/jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 斎藤悦郎

問合せ先責任者 (役職名) 広報IR室長 (氏名) 加納俊男

TEL 044-861-7627

四半期報告書提出予定日 2020年7月31日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	58,044	6.9	3,958	55.3	4,625	59.8	3,414	75.6
2020年3月期第1四半期	62,379	6.2	2,548	7.0	2,894	29.9	1,944	32.7

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 6,269百万円 (760.7%) 2020年3月期第1四半期 728百万円 (61.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	32.64	
2020年3月期第1四半期	18.59	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	222,898	115,461	50.1
2020年3月期	213,250	110,711	50.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 111,579百万円 2020年3月期 106,901百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		14.00		14.00	28.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		15.00		15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	120,000	9.7	4,500	27.9	5,000	15.9	3,500	6.0	33.45
通期	265,000	1.1	16,000	7.1	16,000	16.9	11,000	90.8	105.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	109,277,299 株	2020年3月期	109,277,299 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	4,650,846 株	2020年3月期	4,650,810 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	104,626,477 株	2020年3月期1Q	104,626,826 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

- 2020年6月24日に公表いたしました2021年3月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想を本資料において修正しております。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法および四半期決算説明会の開催について)

四半期決算補足説明資料はT Dnetで同日開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載いたします。

また、当社は2020年7月22日(水)に機関投資家およびアナリスト向けの四半期決算説明会(電話会議)を開催する予定です。当日使用する説明資料については、T Dnetで開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2020年4月1日から2020年6月30日まで）におきましては、情報通信・電子デバイスの売上は増加しましたが、新型コロナウイルスの影響を受けた海外向け空調機の減収により、連結売上高は580億4千4百万円（前年同期比6.9%減）となりました。

損益につきましては、コストダウンの進展および為替相場の好転に加えて、費用支出の減少等により、営業利益は39億5千8百万円（同55.3%増）、経常利益は46億2千5百万円（同59.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は34億1千4百万円（同75.6%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<空調機部門>

空調機部門では、中東向けの出荷増に加え、国内向けの販売も前年同期を上回りましたが、新型コロナウイルスの影響による欧州向けを中心とした海外向けの販売減により、売上高は530億4千1百万円（同9.1%減）となりました。営業利益は、コストダウンの進展および為替相場の好転に加えて、費用支出の減少等により、38億8千万円（同44.5%増）となりました。

[海外向け]

売上高は、347億8百万円（同13.7%減）となりました。

米国・欧州の一部地域や中国などで、新型コロナウイルスの影響による落ち込みからいち早く需要回復の兆しが見られるものの、各地域において総じてロックダウン等に伴う経済活動停滞や購買意欲減退の影響を受け、全体の売上は減少しました。一方で、現地在庫の適正化に伴い出荷水準を引き上げた中東向けは売上が増加しました。

なお、米国や欧州の需要回復が想定よりも早く、前年同期比で減収ながら販売は計画を上回って推移しております。

また、アジアにおける主力市場のインドにおいて、当社直販体制への移行に伴い、前年度に投入した新機種の出荷を拡大し現地販売を推進しているほか、米国においては、現地協業先リーム社と当社の技術を融合した全館空調方式エアコンの新機種を本年8月に発売する予定です。

[国内向け]

売上高は、183億3千3百万円（同1.0%増）となりました。

新型コロナウイルスの影響による需要低迷が4月は見られましたが、気温上昇や在宅時間の増加等もあり例年よりエアコン需要の立ち上がり及早まるなか、当社独自の「熱交換器加熱除菌」による清潔機能やコンパクトでデザイン性に優れた室内機など顧客ニーズに対応したラインアップを揃えるとともに、販促活動早期化とタイムリーな商品供給に努め、売上は前年同期を上回りました。

なお、これまで行ってきた新たな価値創出に向けた先行投資の成果の一環として、高気温の環境下での冷却効果と作業性を両立したウェアラブルエアコン「コモドギア」を開発し、本年6月より国内向けに順次提供を開始しており、社会課題解決にも貢献してまいります。

<情報通信・電子デバイス部門>

情報通信・電子デバイス部門では、情報通信システム、電子デバイスとも販売が増加し、売上高は45億9千1百万円（同27.9%増）、営業損益は1千万円の損失（前年同期は3億円の損失）となりました。

[情報通信システム]

売上高は、22億2千8百万円（前年同期比65.6%増）となりました。

公共システムにおいて、前年度の受注が好調だったことを受け、今年度に入っても受注済みシステムの納入が順調に進展していることから、売上が増加しました。

[電子デバイス]

売上高は、23億6千2百万円（同5.3%増）となりました。

新型コロナウイルス感染拡大による自動車生産の低迷により、車載用カメラの販売は減少しましたが、中国における設備投資の復調を背景に、産業用ロボット向けを中心とした電子部品・ユニット製造の販売が増加し、売上は前年同期を上回りました。

<その他部門>

売上高は4億1千1百万円（同3.4%減）、営業利益は8千9百万円（同45.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末（以下、当第1四半期末）の総資産につきましては、現金及び預金ならびにたな卸資産に加え固定資産の増加により、前連結会計年度末比（以下、前年度末比）96億4千7百万円増加し、2,228億9千8百万円となりました。

負債につきましては、借入金などの増加により、前年度末比48億9千7百万円増加し、1,074億3千7百万円となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上および為替換算調整勘定などの増加により前年度末比47億4千9百万円増加し、1,154億6千1百万円となりました。

この結果、当第1四半期末の自己資本比率は前連結会計年度末と同じく50.1%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間（以下、当期間）の営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、税金等調整前四半期純利益の計上および減価償却費を源泉とした収入などにより、59億3千2百万円の収入（前年同期は3千4百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、開発・生産設備およびITシステムへの投資などにより21億2千4百万円の支出（同41億5百万円の支出）となりました。この結果、当期間のフリー・キャッシュ・フローは38億7百万円の収入（同40億7千1百万円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、配当金の支払などがありましたが、金融機関から資金調達を行ったことにより、12億2千8百万円の収入（同4億円の支出）となりました。

この結果、当第1四半期末の現金及び現金同等物残高は、前年度末比51億6千2百万円増加し、327億3千4百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、当第1四半期において海外向け空調機の販売が計画を上回ったことや、需要の立ち上がり早い国内向け空調機においても今後の販売上積みを見込んでいることから、売上高は前回予想を上回る見通しです。損益につきましては、売上予想の上積みによる増収効果により、各利益とも前回予想を上回る見通しです。

なお、通期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの影響は予断を許さない状況が続いており、最近の各地域における再度の感染拡大に伴う経済活動の回復遅れ等が懸念されるほか、今後の各地域における景気動向や天候ならびに部品価格の動向や為替相場の先行き等が不透明であることから、前回発表の予想を据え置くことといたします。

第2四半期連結累計期間業績予想

(単位：百万円)

	2020年3月期 第2四半期（累計） （実績）	2021年3月期	2021年3月期	増減額
		第2四半期（累計） 前回（6/24）発表予想	第2四半期（累計） 今回修正予想	
売上高	132,914	115,000	120,000	5,000
営業利益	6,238	3,000	4,500	1,500
経常利益	5,947	3,000	5,000	2,000
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,722	2,000	3,500	1,500

通期連結業績予想

(単位：百万円)

	2020年3月期 通期 （実績）	2021年3月期	2021年3月期	増減額
		通期 前回（6/24）発表予想	通期 今回修正予想	
売上高	262,117	265,000	265,000	—
営業利益	14,941	16,000	16,000	—
経常利益	13,683	16,000	16,000	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,765	11,000	11,000	—

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,571	32,734
受取手形及び売掛金	71,266	66,720
商品及び製品	24,874	30,266
仕掛品	1,548	1,637
原材料及び貯蔵品	6,556	6,170
その他	10,221	11,606
貸倒引当金	△268	△266
流動資産合計	141,770	148,868
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	33,678	34,438
機械装置及び運搬具	35,554	36,334
工具、器具及び備品	24,333	25,334
土地	9,007	9,007
建設仮勘定	796	1,280
減価償却累計額	△60,452	△62,700
有形固定資産合計	42,917	43,693
無形固定資産		
のれん	3,517	3,697
その他	7,713	8,440
無形固定資産合計	11,231	12,137
投資その他の資産		
投資有価証券	4,976	5,626
繰延税金資産	8,469	8,717
その他	3,896	3,865
貸倒引当金	△10	△10
投資その他の資産合計	17,331	18,198
固定資産合計	71,480	74,029
資産合計	213,250	222,898

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	35,465	33,556
短期借入金	5,446	8,896
未払法人税等	1,564	1,863
未払費用	14,946	16,098
製品保証引当金	3,835	3,870
海外事業等再編引当金	2,580	2,463
独禁法関連引当金	7,925	7,925
その他	10,319	12,078
流動負債合計	82,082	86,751
固定負債		
長期借入金	120	120
再評価に係る繰延税金負債	2,380	2,380
退職給付に係る負債	15,990	16,139
その他	1,966	2,045
固定負債合計	20,457	20,686
負債合計	102,539	107,437
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,089	18,089
資本剰余金	530	530
利益剰余金	95,296	97,245
自己株式	△5,045	△5,045
株主資本合計	108,870	110,820
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	434	696
繰延ヘッジ損益	△706	470
土地再評価差額金	4,793	4,793
為替換算調整勘定	△6,496	△5,209
退職給付に係る調整累計額	6	7
その他の包括利益累計額合計	△1,969	759
非支配株主持分	3,810	3,881
純資産合計	110,711	115,461
負債純資産合計	213,250	222,898

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	62,379	58,044
売上原価	45,156	40,395
売上総利益	17,223	17,649
販売費及び一般管理費	14,674	13,690
営業利益	2,548	3,958
営業外収益		
受取利息	14	7
受取配当金	70	63
持分法による投資利益	84	164
為替差益	152	376
その他	69	122
営業外収益合計	391	734
営業外費用		
支払利息	15	22
その他	31	45
営業外費用合計	46	68
経常利益	2,894	4,625
税金等調整前四半期純利益	2,894	4,625
法人税、住民税及び事業税	1,636	1,582
法人税等調整額	△876	△509
法人税等合計	759	1,072
四半期純利益	2,134	3,552
非支配株主に帰属する四半期純利益	189	137
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,944	3,414

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	2,134	3,552
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△161	262
繰延ヘッジ損益	3	1,177
為替換算調整勘定	△1,280	1,221
退職給付に係る調整額	4	1
持分法適用会社に対する持分相当額	27	54
その他の包括利益合計	△1,405	2,716
四半期包括利益	728	6,269
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	633	6,143
非支配株主に係る四半期包括利益	94	125

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,894	4,625
減価償却費	1,389	1,498
のれん償却額	69	49
引当金の増減額 (△は減少)	△299	△259
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△44	114
受取利息及び受取配当金	△84	△71
支払利息	15	22
売上債権の増減額 (△は増加)	5,993	5,392
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△10,845	△4,567
仕入債務の増減額 (△は減少)	280	△2,519
その他	1,165	2,421
小計	533	6,707
利息及び配当金の受取額	84	71
利息の支払額	△17	△19
法人税等の支払額	△565	△826
営業活動によるキャッシュ・フロー	34	5,932
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,322	△1,343
有形固定資産の売却による収入	—	4
その他	△2,782	△785
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,105	△2,124
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,242	3,069
長期借入れによる収入	160	—
配当金の支払額	△1,329	△1,444
その他	△473	△395
財務活動によるキャッシュ・フロー	△400	1,228
現金及び現金同等物に係る換算差額	△275	126
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,748	5,162
現金及び現金同等物の期首残高	35,412	27,571
現金及び現金同等物の四半期末残高	30,664	32,734

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	空調機	情報通信・ 電子デバイス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	58,363	3,589	61,953	426	62,379
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	131	131	75	207
計	58,363	3,721	62,084	501	62,586
セグメント利益又は損失(△)	2,685	△300	2,384	163	2,548

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,384
「その他」の区分の利益	163
四半期連結損益計算書の営業利益	2,548

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	空調機	情報通信・ 電子デバイス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	53,041	4,591	57,632	411	58,044
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	261	261	75	337
計	53,041	4,852	57,893	487	58,381
セグメント利益又は損失(△)	3,880	△10	3,869	89	3,958

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,869
「その他」の区分の利益	89
四半期連結損益計算書の営業利益	3,958